



川口浩史 議員

組合解散、当然だ。
猛省が必要だね

問 埼玉中部資源循環組合の管理者が辞任の意向を示した。理由は。

答 環境課長 付帯施設の負担割合が調整つかず管理者と吉見町長との職責が相反するとの理由である。

再問 この問題はその後組合解散にまでな

再答 町長 解散するところが決まったばかりなので次のことまで頭が回らない。

中部資源組合が解散になる。至急、次を検討すべきでは

川袋橋 通行止めは

問 川袋橋(志賀2区と広野・杉山間の橋)が通行止めになった。原因は何か。

答 上下水道課長 下水道管が破損しマンホールポンプが周辺の砂を吸い込み、陥没の恐れがあったため通行止めにした。

再問 看板には原因を書

再答 上下水道課長 緊急で原因を特定できなかった。お知らせできる様掛けたい。

豪雨対応を

問 管きよや調整池は豪雨に対応出来るものになっているのか。

答 まちづくり整備課長 平沢土地区画整理地にある調整池は3年に一度の雨水確率に基づき整備した。10年に一度といった豪雨には対応出来ない。

再問 それは問題だ。そ

再答 まちづくり整備課長 平沢の調整池の変更は認可に基づいている。また東原も認

可に基づいて整備を行ったものであり、問題ないと考えている。

図書館・空調悪い

問 図書館の空調の効きが悪い。対応は。

答 教育委員会事務局長 公共施設等総合管理計画により対応していく。



看板と後ろの焼却場の間が新焼却場予定地=R元. 10. 17



島山美幸 議員

安全運転可能な
社会を

問 嵐山町においては「生活者の足」として車が欠かせない高齢者も多い中、自主返納した際、地域における移動手段の確保は欠かせない。今後、近い将来には自動運転の時代が来るが、そこまでの対応は必要である。

答 長寿生きがい課長 (1)小川警察署交通課によると、ブレーキとアクセルの踏み間違いは嵐山町においては無かったとのことである。厳しい財政状況により補助制度は予定していない。踏み間違い装置については周知していく。

再問 稲などの農作物の育成への影響を軽減した仕様の、LED防犯灯が農村地の夜道の治安確保と農業の両立を図る。「光害」が軽減され設置に至らない農地に、明るく安全に利用するお考えは。



農道に光害のないLED防犯灯の設置を

ペダル踏み込み間違い時加速抑制装置の補助の考えは

答 厳しい財政状況により補助制度は予定していない

